

- 1 施設名 社会福祉法人 出東福祉会 出東保育園
- 2 施設場所 島根県出雲市斐川町大字三分市1071番地4
- 3 事業主体 社会福祉法人 出東福祉会
- 4 施設の概要(建築に至った背景、施設の目的など)

昭和52年建築の保育園舎の老朽化により園舎新築を検討してきた。日頃より次代を担う子どもたちをよりよく育てるには、安心安全で優しい環境が必要と考えていたので、木の断熱保温性や衝撃吸収性、そして適度な音の吸収性等は保育園にとって最適な素材と考え木造施設の建設に取り組むことにした。

- 5 施設規模  
 建築面積 958.84㎡ 延床面積 885.18㎡ 階数 2階建て  
 木材使用量228.67㎡(国産材量 23.12m<sup>3</sup>、県産材量205.95m<sup>3</sup>)
- 6 事業費 215,250,000円

7 写真



(外観)



(内部)

8 施設の特徴(アピール点)

- 1 限られた敷地条件の中で南側棟(3歳~年長児)と北側棟(0歳~2歳児)に分け保育室は全て南向きに配置することができた。又、南棟北棟の間に中庭をとったことでどの保育室にも光を取り入れることができた。
- 2 中庭面と南側棟の南面にテラスを配置したことにより保育室への夏の日差し及び雨の影響を和らげることができる。又、管理部門・厨房を西側に配置したことにより冬の季節風による保育室及び中庭への影響も和らげることができた。
- 3 屋根において、張間が長い建物に対して低勾配の石州瓦を採用したことにより棟高を低く抑え小屋裏空間を小さくしている。
- 4 外壁について 園児が活動し触れるテラス廻りに檜板を採用している。又、特に保育室においては園児が触れる床面は檜フローリング張り、腰壁は杉板張りとしている。
- 5 電化厨房として調理室内の環境に配慮している。

9 木材利用において工夫・考慮した点

- 1 構造的には、力の流れが比較的わかりやすい在来工法和小屋組とし、耐力壁は筋違いによる耐力壁とした。
- 2 木材利用において、杉材については柱・桁材を主とし、梁材についてはスパン2.0m程度までとした。その他の梁材については、スパン4.0m程度までは松材をそれ以上のスパンについては檜集成材を採用した。
- 3 木材表し部の保護塗装については、園児への影響を考慮し無公害の自然素材の保護塗料を採用した。